

令和5年

第3回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和5年3月20日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第3回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年3月20日（月） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1 番 神 田 忍	2 番 渡 部 清 人	3 番 佐 賀 久 人
4 番 安 達 壽 人	5 番 古 川 悟	6 番 鈴 木 つや子
7 番 渡 部 義 正	8 番 渡 部 大 助	9 番 渡 部 悦 子
10 番 渡 部 清 美	11 番 別 府 昭 男	12 番 土 屋 勇 雄

農地利用最適化推進委員

13 番 笹 岡 正 人	14 番 五十嵐 勇 夫	15 番 喜多見 貞 雄
16 番 古 川 俊 裕	18 番 土 屋 孝 彦	19 番 安 部 寛 一
20 番 齋 藤 敦	21 番 五十嵐 美 春	22 番 渡 部 清 昭
23 番 磯 谷 衛	24 番 阿 部 莊一郎	

4. 事務局 農地係長 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午前9時30分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第3回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、3月1日告示し、同日付で、農業委員及び関係する農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち

出席委員 12名、全員出席であります。

したがって、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、招集告知を申し上げた委員は11名であります。

出席委員 11名、全員出席であります。

委員の皆様に申し上げます。各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を

求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、

5番 古 川 悟 委員

11番 別 府 昭 男 委員

の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第 5号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第10号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第11号 農地法第3条の規定による許可申請について（使用貸借権設定）

議案第12号 農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第13号 農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について

議案第14号 現況確認証明願いについて

議案第15号 農用地利用集積計画の決定について

議案第16号 猪苗代町特定農地貸付規程の一部改正について

議案第17号 令和5年度最適化活動の目標設定について

以上、9件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第5号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

報告第5号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。
この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

2頁をご覧ください。

No.1の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇で、解約理由は、耕作者を変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりです。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件については、報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第10号「農地法第3条の規定による許可申請について」（所有権移転）を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第10号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

4頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は 〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇で、大字〇〇字〇〇3677番 田 1筆 118㎡を、10a 当たり 100,000 円で 売買するものであります。

No.2の譲渡人は 〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、同じく〇〇の〇〇 〇〇で、大字〇〇字〇〇3633番 1 外1筆 田 833㎡を、10a 当たり 100,000 円で 売買するものであります。

No.3の譲渡人は 〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇で、字〇〇18番 田 1筆 1,583㎡を、10a 当たり 126,343 円で 売買するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります21番 五十嵐 美春 推進委員に報告を求めます。

○21番（五十嵐美春 推進委員）

No.1について、令和5年3月12日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅に電話し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は、生前に所有農地を処分したいとの意向で、所有農地の近隣の田を耕作している ○○ ○○ 氏へ、売買により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、譲受人は、認定農業者であり、今後も適切な農地の維持管理ができる等、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

8番 渡部 大助 農業委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○8番（渡部大助 農業委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第10号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第10号のNo.1は、申請のとおり許可すること決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります21番 五十嵐 美春 推進委員に報告を求めます。

○21番（五十嵐美春 推進委員）

No.2について、令和5年3月13日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅に電話し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は、町外在住であり、生前に所有農地を処分したいとの意向で、先ほど報告しましたNo.1と同じく、所有農地の近隣の田を耕作している ○○ ○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、譲受人は、認定農業者であり、今後も適切な農地の維持管理ができる等、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

8番 渡部 大助 農業委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○8番（渡部大助 農業委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.2の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第10号のNo.2について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第10号のNo.2は、申請のとおり許可すること決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.3の調査員であります14番 五十嵐 勇夫 推進委員に報告を求めます。

○14番（五十嵐勇夫 推進委員）

No.3について、令和5年3月14日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅に電話し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は、令和元年10月に本申請農地を相続により取得しましたが、町外在住であり、生前に所有農地を処分したいとの意向で、所有農地の田を耕作している ○○ ○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、譲受人は、農作業に常時従事することができるとともに、機械の保有状況や周辺地域との調和要件等、許可の要件を満たしていると思われるので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

2番 渡部 清人 農業委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○2番（渡部清人 農業委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.3の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第10号のNo.3について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第10号のNo.3は、申請のとおり許可すること決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第11号「農地法第3条の規定による許可申請について（使用貸借権設定）」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第11号「農地法第3条の規定による許可申請（使用貸借権設定）」について説明いたします。

この議案につきましても、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

6頁をご覧ください。

No.1の貸付人は ○○の○○ ○○、借受人は、○○の○○ ○○で、大字○○字○○109 番田 1筆 3,000 m²を、無償で貸付るものであります。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります20番 齋藤 敦 推進委員に報告を求めます。

○20番（齋藤敦 推進委員）

No.1について、令和5年3月7日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請は、令和4年10月に農地法第3条の交換を行った ○○ ○○ 氏の父である ○○ ○○ 氏所有の農地について、○○ 氏は既に経営移譲をしており、使用貸借権の設定をするため本申請に至ったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、譲受人は、農作業に常時従事することができるとともに、機械の保有状況や周辺地域との調和要件等、許可の要件を満たしていると思われるので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

7番 渡部 義正 農業委員に申し上げます。
調査報告に補足があれば、お願いします。

○7番（渡部義正 農業委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第11号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第11号のNo.1については、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第12号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第12号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。
この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

8頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は、同じく〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は
大字〇〇字〇〇606番4 畑 1筆 38㎡であります。

申請事由としましては、譲受人は、申請地西側宅地に居住しており、宅地への進入路が必要なことから、申請地を駐車場及び庭として長年使用してきた、追認案件であります。

議案説明資料の3・4・5頁が申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と現地調査をお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります5番 古川 悟 農業委員に報告を求めます。

○5番（古川悟 農業委員）

議案第12号のNo.1について、3月10日午前10時、私と土屋孝彦推進委員、申請者代理人、及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、〇〇行政区の南側に位置する、農振農用地外（白地）の農地（畑）であります。

申請地は、譲受人の父が、昭和46年に住宅を新築した際に、宅地への進入路が必要となり、譲渡人の父の了解を得て、駐車場及び庭（冬季雪捨て場）として長年無償で使用して来たものであり、追認案件であります。

この度、譲渡人の父が亡くなり、相続財産の整理をする必要から、本申請に至ったものであります。

申請地は、宅地に隣接した畑で、東側及び南側は水路を挟んで農地ではありますが、農地所有者からは同意を得ており、付近の農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われます。

以上の内容から、転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

本件の調査員は、17番 原 智之 推進委員であります。都合により調査の立会いが出来ませんでしたので、18番 土屋 孝彦 推進委員に調査立会いをお願いしました。

18番 土屋 孝彦 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○18番（土屋孝彦 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第12号のNo.1について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第12号のNo.1については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第13号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第13号「農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について」説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

10頁をご覧ください。

No.1の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇・〇〇 夫妻であり、申請地は 大字〇〇字〇〇62 番 1、外1筆 田 681 m²であります。

申請事由としましては、転用申請当初は、敷地内に住宅を2棟建てる予定でありましたが、1棟分の建築の必要が無くなり、また、その予定地を冬季雪捨て場として利用する必要から、計画を変更するものであります。

議案説明資料の6・7・8頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますので、併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と、現地調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります5番 古川 悟 農業委員に報告を求めます。

○5番（古川悟 農業委員）

議案第13号のNo.1について、3月10日午前10時30分、私と土屋孝彦推進委員、申請者代理人、及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、〇〇行政区の北側に位置する、都市計画用途地域内の農地（田）であります。

申請地は、平成27年4月農地法5条の転用許可を受け、一般住宅用地として転用し、平成27年12月に宅地への地目変更登記済みであります。

当初申請時は、娘と同居しており、敷地内に将来娘が独立して住宅を建てる予定で、2棟の住宅を建築する計画でありましたが、その娘が結婚し、町外に新居を設けたため、また、その予定地を冬季雪捨て場として利用する必要から、今回の変更申請に至ったものであります。

申請地は、既に住宅及びガレージ、来客用駐車場、庭（冬季雪捨て場）として利用され、周辺地域も住宅地であり、付近の農地や農作物、農業用排水施設等にも影響は無いものと思われ
ます。

以上の内容から、変更申請の内容に問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

18番 土屋 孝彦 推進委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○18番（土屋孝彦 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第13号のNo.1について、変更申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第13号のNo.1については、変更申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第14号「現況確認証明願いについて」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

この議案は、農業委員会の証明の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

12頁をご覧ください。

No.1の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇 であり、申請地は、大字〇〇字〇〇甲2852番13 畑49 m²であります。

申請事由としましては、該当地の所有者が平成18年に町外へ転出して以来、管理や耕作等がされず、山林化したものであります。

なお、議案説明資料の9・10頁が、申請地の案内図、公図となっておりますので、併せてご覧願います。

この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に現地調査をお願いし提案しております。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

ただ今事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります10番 渡部 清美 農業委員 に報告を求めます。

○10番（渡部清美 農業委員）

議案第14号のNo.1について、令和5年3月10日の午前11時より、私と磯谷 衛 推進委員、申請者代理人、農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

申請地は、〇〇行政区南側の山際の畑で、農振農用地区域外（白地）の農地です。

申請地は、所有者である 〇〇 〇〇 氏が平成18年に町外へ転出して以来、20年近く管理や耕作等がされず、山林化したものであります。

この度、〇〇地区の墓地造成事業に当たり、申請地が農地であることが判明し、墓地周辺施設として一括管理するにあたり、現況に合わせた地目に変更する必要から、故 〇〇 〇〇 氏の相続人である 〇〇 〇〇 氏（二女）より申請があったものであります。

現地調査の結果としては、今後農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したので、報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

23番 磯谷 衛 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○23番（磯谷衛 推進委員）

私からは、特に補足の報告はございません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、審議を行います。

調査結果は、平成18年に所有者が町外へ転出して以来、20年近く管理や耕作等がされず山林化しており、耕作が出来ない状況であります。

今後、農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第14号のNo.1について、願い出の通り、非農地と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第14号のNo.1については、願い出のとおり非農地と決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第15号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第15号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするもの
あります。

14頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

なお、今回は件数が多いため、貸手及び借手、筆数、面積のみ読み上げさせていただきます
で、契約期間及び10a当たり賃借料等につきましては、議案書にてご確認願います。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 22筆 43,822 m²を

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 7筆 6,367 m²を

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 1,490 m²を

No.4は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 463 m²を

No.5は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 4,952 m²を

No.6は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 6,054 m²を

No.7は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 13筆 21,424 m²と 畑 1筆
1,121 m²を

No.8は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 8,233 m²を

No.9は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に 田 7筆 13,667 m²と 畑 1筆
714 m²を

No.10は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 6筆 10,787 m²と 畑3筆
1,109 m²を

No.11は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 6筆 11,700 m²と 畑1筆
1,026 m²を

No.12は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 8筆 16,875 m²と 畑1筆

991 m²を

No.13 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,153 m²を

No.14 は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外3名が、〇〇の〇〇 〇〇に 田
8筆 14,694 m²を

No.15 は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外1名が、〇〇の株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇に、田 2筆 5,870 m²を

No.16 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 2,641 m²を

No.17 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 3筆 3,575 m²を

No.18 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 1,284 m²を

No.19 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 4,142 m²を

No.20 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 4,741 m²の内 2,850 m²を

No.21 は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外3名が、〇〇の有限会社 〇〇
〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇に、田 9筆 13,494 m²を

No.22 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 3,097 m²を

No.23 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 2,934 m²を

No.24 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 2,139 m²を

No.25 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 2筆 5,685 m²を

No.26 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 1筆 3,343 m²を

それぞれ貸し付けるものであります。

次に29頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

本件につきましても、今回対象件数が多いため、農地所有者、筆数、面積及び公社からの借
受者のみ読み上げさせていただきますので、契約期間及び10a 当たり賃借料等につきましては、議
案書にてご確認願います。

No.1 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2 筆 2,491 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.2 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1 筆 2,973 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.3 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 5 筆 19,565 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.4 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 6 筆 15,431 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.5 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3 筆 3,778 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.6 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1 筆 6,834 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.7 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3 筆 26,790 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.8 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1 筆 867 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.9 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 4 筆 11,699 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.10 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3 筆 7,950 m²を 〇〇の 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇に

No.11 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2 筆 3,500 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.12 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 8 筆 22,915 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.13 は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外5名の 田 12 筆 46,825 m²を
〇〇の 〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇に

No.14 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 5 筆 8,256 m²を 〇〇の〇〇 〇〇に

No.15 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 9 筆 16,246 m²と 畑 1 筆 1,460 m²を 〇〇の
農事組合法人 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇に

No.16 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1 筆 1,147 m²と

No.17 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3 筆 11,889 m²と

No.18 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1 筆 1,000 m²と

No.19 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3 筆 11,759 m²を それぞれ〇〇の 〇〇〇〇
株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇に

No20 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 8,340 m²と

No21 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 5,613 m²と

No22 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 3筆 3,575 m²と

No23 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 6,011 m²と

No24 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 827 m²と

No25 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 4筆 11,090 m²と

No26 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 4,572 m²を、それぞれ〇〇の〇〇 〇〇に

No27 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 9筆 20,590 m²を、〇〇の〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、
〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇、〇〇 〇〇のそれぞれに

No28 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 10筆 10,983 m²を、〇〇の 株式会社 〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇に

No29 は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇の 田 5筆 16,286 m²を、〇〇の
〇〇 〇〇に

No30 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 1筆 2,779 m²を、〇〇の〇〇 〇〇に

No31 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 2,226 m²と

No32 は、〇〇の〇〇 〇〇の 田 2筆 6,311 m²を 〇〇の 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇に

それぞれ、公社が借受け、借受者に貸し付けるものであります。

次に、41頁から50頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」について、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査票に基づく調査をお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。議案第15号の利用権設定 No.16とNo.17は、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員が、機構借入No.10と機構貸付No.9は、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員が、議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第15号の利用権設定 No.16とNo.17と機構借入No.10と機構貸付No.9以外の案件について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第15号の利用権設定 No.16とNo.17と機構借入No.10と機構貸付No.9以外の案件については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第15号の利用権設定No.16とNo.17を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第15号の利用権設定No.16とNo.17について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第15号の利用権設定 No.16とNo.17については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 出席）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案第15号の利用権設定 No.16とNo.17については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第15号の利用権設定 機構借入No.10と機構貸付No.9を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 推進委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第15号の利用権設定 機構借入No.10と機構貸付No.9について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第15号の利用権設定 機構借入No.10と機構貸付No.9については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 推進委員 出席）

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員に報告します。

議案第15号の利用権設定 機構借入No.10と機構貸付No.9については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第16号「猪苗代町特定農地貸付規程の一部改正について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 係長）

議案第16号「猪苗代町特定農地貸付規程の一部改正について」説明いたします。

この議案は、特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律施行令第4条第1項の規定により、町長より承認を求められたので審議をお願いするものであります。

町では、平成23年に猪苗代町特定農地貸付規程を策定し、地域農業活性化センター（アグ

りいな)において、いわゆる町民農園を開設し、町民に農地の貸付を行っているところですが、その利用希望者が増加したことから、貸付農地の新規追加を行うため、変更承認の申請があったものであります。

具体的には、貸付規程(案)の54頁、別表の最後尾に記載されております下線の引いてある筆、字〇〇4555番1の1,124㎡を追加するものであり、附則としまして、この訓令は令和5年4月1日から施行するものであります。

なお、議案説明資料の11頁・12頁が、該当地の案内図及び町地域農業活性化センターの農地一覧となっておりますので、併せてご覧願います。

以上であります。

○議長(土屋勇雄 会長)

事務局の説明が終わりましたので、議案第16号について、審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、採決を行います。

議案第16号について、承認することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第16号は、承認することに決定しました。

○議長(土屋勇雄 会長)

それでは次に、議案第17号「令和5年度最適化活動の目標設定について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局(佐藤 係長)

議案第17号「令和5年度最適化活動の目標設定について」説明いたします。

この議案は、農業委員会等に関する法律第37条の規定により、来年度の最適化活動の目標を定め、公表する必要があることから、審議をお願いするものであります。

農業委員会等に関する法律の改正法が、平成28年4月に施行され、農業委員会において「農地利用の最適化の推進」が最も重要な必須事務として明確に位置付けられました。

これにより、平成29年8月に猪苗代町農業委員会の指針を策定し、また、昨年7月の総会において、この指針の変更について審議をお願いした経過がございます。

今回は、その指針に基づき、来年度の最適化活動の目標を設定させていただきましたので、

ご説明いたします。

57頁をご覧ください。

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積についてですが、令和5年3月の現状としては、管内農地面積3,230haに対し、農地利用集積面積が1,745haであり、54.0%の集積率となっております。

今後、令和10年3月までに80%の集積率を目指す必要があるため、令和5年度の新規集積面積を139.8haとし、集積面積の累計で1,885ha、年度末の集積率で58.4%を目指します。

次に(2)遊休農地の解消についてですが、令和5年3月の現状として、遊休農地面積が21.9ha、うち緑区分の遊休農地が8.3ha、また、黄区分の遊休農地が13.6haとなっております。

今後、令和3年度の緑区分遊休農地の解消で0.9ha、及び令和4年度の新規発生緑区分遊休農地の解消で18.5haの遊休農地の解消を目指します。

次に、58頁をご覧ください。

(2) 新規参入の促進についてですが、令和4年度の新規参入者は3経営体で、10.8haの実績でありました。

令和5年度は、更なる新規参入者の確保により、貸付等において18.2haの権利移動を目指します。

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数の目標としては、今年度と同じく月10日の活動を目ざしたいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、具体的な活動の取り組みにつきましては、今後皆さんと随時協議させて頂きながら、進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第17号について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第17号については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和5年 第3回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午前10時45分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年 3月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人